

## ◆人も会社も守る！パワハラ防止策とは？◆

さて、あなたの会社ではパワハラ防止の対策をしていますか？

◆ ----- ◆

発生してからでは遅い？！企業が行なうべきパワハラ対策とは

◆ ----- ◆

パワハラによるトラブルは、何年も前から生じています。

近年は、**SNSの拡散力も手伝い**会社の存続に影響を与えるほど重大な問題です。

どれほど注意喚起されてもパワハラによる事件がなくなるのは、なぜなのでしょう？



それは【加害者の多くが、無自覚だから】だそうです。

実際に、これまで事件を起こした会社は**パワハラが日常茶飯事だったケースが多く**問題行為であることにも気づいていなかったようです。

具体的に、過去には以下のような事件がありました。

直属の上司から「給料泥棒」「目障り」などの暴言を受け、精神障害を発症、自殺に追い込まれた。

産休を申請した教員が、復帰後担当学科を外され4年以上も隔離状態、その後7年は自宅研修を命じられ裁判を起こした。

仕事でのミスが原因で上司から恫喝、暴行され更に損害賠償を求められた。退職願いも強要され、自殺に追い込まれた。

パワハラでこのような訴訟が起これば、企業にとって重大なダメージとなります。特に中小企業の場合は、倒産の可能性もゼロではありません。

そこで、パワハラを防ぐために各社でさまざまな取り組みをしているようです。

なかには、このような対策をしている企業もあるのだとか。

### ■企業が行なう5つのパワハラ対策

パワハラは一切許容しないというトップからのメッセージを出す

パワハラについての社内アンケートを定期的に行なう

どのような行為がパワハラにあたるか研修会を開催する

社外に相談窓口を設ける

パワハラに対する罰則を就業規定に明記する      など

このように、パワハラ対策には費用を掛けずに始められるものもあります。まずは簡単にできそうなものから試してみたいかがでしょうか。

■  -----  ■

編集後記

今月のテーマはパワハラ防止の対策についてお伝えしました。パワハラは会社の規模を問わず起こり得る問題です。うちは大丈夫！と油断せず、当社でも対策しようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

疑問点などは遠慮なくお問い合わせ下さいませ。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

